

内面にカエリがある場合

図1のような角タンクの場合には開口部内側に、カエリ部分があるため空気や垂鉛の流出が不完全となります。

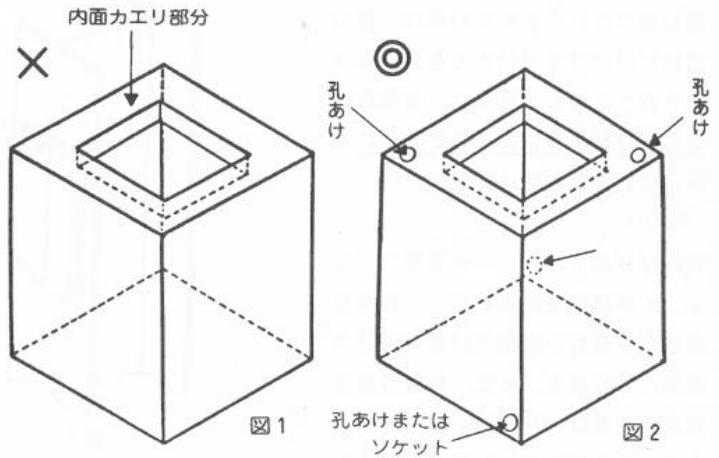


図2のような位置に孔あけが必要となります。

図3のように内部にカエリがあると垂鉛が抜けにくいばかりでなく、浮力のため垂鉛浴に浸漬できません。

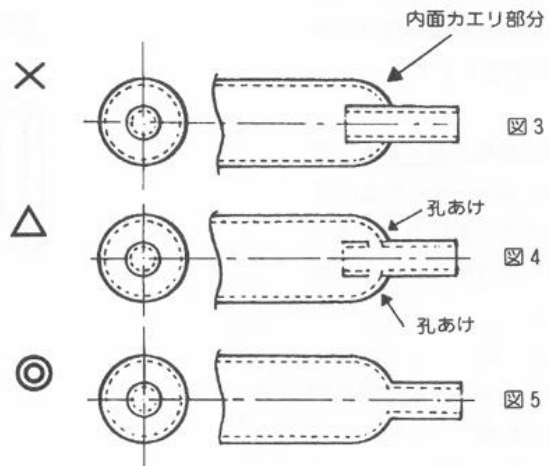


図4のように孔をあけるか、できるだけ図5のように、カエリ部分をなくすような構造にしてください。

図1のように、丸タンク等にソケットを取付けた場合に、内部にカエリ部分があると、空気や垂鉛が残るため、めっき不良や、垂鉛だまりが生じます。

図2のような孔をあけるか、図3のようなカエリのない構造にしてください。

